

平成29年5月25日  
(資料提供)

(事務担当)  
所属名：農林総合研究センター  
農業試験場 総合研究部  
病害虫防除室  
直通：257-6972

## 平成29年度病害虫発生予報第2号について

今後発生が予想される、水稻、大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の発生時期や発生量、防除上の注意事項などを掲載する。

1 予報期間 5月下旬～6月中旬

2 予報内容

(1) 水 稻

**葉いもち**の発生は**やや多**と予想される。本田に放置された補植苗は伝染源となるので、直ちに除去する。箱施薬していない場合は6月中旬に予防粒剤を散布する。発生を認めた場合は初期の防除を徹底する。

**斑点米カメムシ類**の雑草地における発生は**やや多**と予想される。今後、急激な増加も考えられることから、生息場所となる農道、畦畔、休耕田及び遊休地等の雑草地の除草を徹底する。

(2) 大 豆

**ネキリムシ類**の発生は**多**と予想される。は種時の防除を徹底する。

(3) 果 樹

**ナシ黒星病**の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の薬剤防除を徹底する。

**アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、ハマキムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類**の発生は**やや多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

(4) 野菜・花き

**スイカつる枯病、炭疽病**の発生は**やや多**と予想される。トンネル除去時、および発病初期の防除を徹底するとともに、圃場排水に努める。

**ネキリムシ類**の発生は**多**と予想される。は種時又は定植時の防除を徹底する。

**オオタバコガ、コナジラミ類、アザミウマ類**の発生は**多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

**アブラムシ類、ハダニ類、ハモグリバエ類、コナガ**の発生は**やや多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。